

令和2年7月6日（月）新聞発行番号5

生活支援コーディネーターから協議体のみなさまへメッセージ

新型コロナウイルスの感染症対策を行いながら、今月より協議体が再開します。地域の実情に合った話し合いを第2層協議体で進める一方、長泉町全体に係る内容は全域の課題として話し合いを進めて参ります。第2層協議体からの活発な提案をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

北小圏域

相澤 要

第2層
生活支援コーディネーター

新型コロナウイルス感染症により、地域のサロン活動や見守り活動、協議体の開催などの自粛を余儀なくされました。自然災害も含め、このような非常事態においての地域での支えあいについて考えさせられることも多く、これを教訓と捉えて今後協議していく必要があるのかもしれない。

今回は「住民への関心を高める・広める情報の発信について」をテーマに話し合いをしました。情報発信は個人の知識とするだけでなく、参加者の意識や関心に働きかけ、活動として地区で広がりをもっていくことも目的としています。また、公民館の活用や情報の発信にあたっては一個人や一団体だけではなく、区の協力も必要であることを話し合いました。各地区で活動の輪を広げることや、活動を継続していくためには女性だけでなく男性の参画が必要との共通認識がある中で、「男性を巻き込んでいくためにはどうしていけばいいのか」「興味のあることに対しては積極的な参加が見込まれるのではないか」と活発な意見交換が行われました。

協議体メンバーの皆さん、前回からの宿題があったことをお忘れなく！

北小校区第4回第2層協議体
開催日時：7月19日（日）9：30～
開催場所：モク・オハナ2階地域交流室

長小圏域

室岡 千春

第2層
生活支援コーディネーター

長小圏域での話し合いでは当初から、「高齢のためできなくなったちょっとした困りごとを頼めるところが身近に欲しい。」という話が出ていました。「朝自宅に電話があり病院までの付き添いを頼まれたことがあるので、地域の仕組みとして頼めるところがあると良い。」との意見や「ゴミステーションまで歩けずゴミ出しに苦労している方を知っているので、自分が高齢になってゴミ出しができなくなってしまった時でも安心して過ごせるような仕組みがあると良い。」等の意見がありました。

複雑な手続きもなく、今すぐ頼みたい！というニーズを解消し、できる人ができない人の手助けをする「お助け110番（仮称）」のような仕組みをつくろう、というところまで話し合ってきました。

また、既存のサービスを知らない人も多いため、「お助け110番（仮称）」を周知するにはどうしたら良いか、困っている人と支援する人をつなげる窓口はどうしたら良いか、との課題も出てきました。

「お助け110番（仮称）」を長小圏域で利用しやすい仕組みにするために、皆さんそれぞれご意見をお持ちだと思いますので、意見を出し合いながら一緒に考えていきましょう。

長小校区第3回第2層協議体
開催日時：7月21日（火）13：30～
開催場所：福社会館2階研修室

南小圏域

元原 公子

第2層
生活支援コーディネーター

私たちは、地域の住民同士のつながりや昔ながらの縁側の付き合いのようなことが大事であると確認し、災害時に助け合える近所付き合いをテーマに「居場所づくり」に着手することに舵を取ろうとしたその矢先の緊急事態宣言となりました。今回の新型コロナ感染症対策で地域の活動にも影響が出ています。

一人暮らしの高齢者、高齢者のみ世帯の方々の暮らしが孤立したものになっていないか懸念されるところです。まさに私たちが取り上げた課題が目の前にやってきました。「災害時の助け合いの形」今一度、思いを寄せ合い、「居場所づくり」について考えていかなければならないと感じています。今まで想定していた「居場所」でよいのかどうか。新しい生活様式を取込み、参加者の健康を守る事への取組みも加えながらの活動はどのように気を配るべきか。南圏域ならではの「居場所づくり」について多くの課題はありますが、これからも話し合いましょう。今までも、メンバーの各々の思いを伝え合い、自身の思いや考えと同じところ、異なっているところを照らし合わせてきました。相手の立場を思いやり、お互いに尊重し合える仲間でありたいと思います。そして、地域のために働ける協議体へと共に成長していきたいです。次回の会議では、元気にそして盛んな意見交換を行っていきましょう。

南小校区第4回第2層協議体
開催日時：7月28日（火）13：30～
開催場所：さつき園1階地域交流センター

協議体の運営について

新型コロナウイルスの影響により中止していた協議体は7月から再開します。

新しい生活様式を取り入れ、安心安全な協議体の運営をしていきます。

皆様のご協力をお願いします。

3密を避けた環境づくりを行います

- 密閉空間** 窓とドアを開放し、密閉空間にならないよう換気をします。
- 密集場所** 協議体は不特定多数ではなく、固定したメンバーで構成されています。
- 密接場所** 机や椅子の間隔を空け、一定の距離を保ちます。

《協議体実施にあたってのお願い》

新型コロナウイルス感染症予防の

観点からご協力をお願いいたします。

- 自宅で検温の実施をしてください。
- マスクの着用をお願いします。
- 飲み物は各自で持参してください。
- 会場入り口で手指消毒をお願いします。
- 体調不良の際は無理をせずご連絡ください。
(熱がある、咳が出る等)

第2層SC連絡先

各地域包括支援センター

北小校区第2層協議体

相澤SC 055-941-5335

長小校区第2層協議体

室岡SC 055-989-5537

南小校区第2層協議体

元原SC 055-918-2121

居場所紹介 Vo.2



4か月ぶりの活動ですが、さすがのチームワークです。いつもの和気あいあいでお互いの健康を気遣いながらの支援です。一人暮らしの高齢者から「ありがとう。愛情がうれしい。」とコメントを頂きました。気持ちと気持ちのつながりに感謝です。

南小校区元原SC

「今、何かしたい。」地域の支え合い活動を紹介します。 三軒家区&エンゼル西区ふれあい子育てサロン

三軒家区とエンゼル西区では、合同で月に1回三軒家区公民館を活用し、地域の居場所づくりをしています。今回は「三軒家区&エンゼル西区ふれあい子育てサロン」の活動について取材をしてきました。

消毒やマスクを完備



新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から、地域のサロン活動やイベントが中止となりました。地域のつながりの大切さを再確認し、「今、何かしたい。」という思いから、緊急事態宣言中に運営スタッフ同士が連絡を取り合い、緊急事態宣言解除とともに居場所の活動を再開しました。

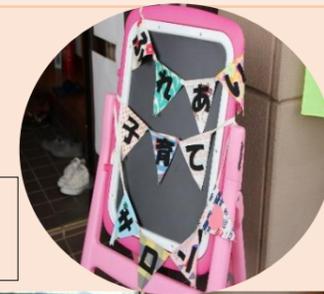
休校となり、子育て世帯は毎日子どもの世話や食事などの準備が大変という声が挙がり、一人暮らし高齢者の方へは、つながりを絶やさない計画がはじまりました。

民生委員、区長も参画



5月下旬、3密を避けながらカレーやロールサンドを手渡しし声を掛け合う姿が見受けられ、子育て世帯に一人暮らし高齢者の方も大変喜ばれていました。日ごろのつながりの大切さを再確認するとともに、地域の支え合いの取り組みで心があたたかくなりました。ありがとうございました。

取材：令和2年5月28日
第1層SC 渡邊



カレーを食べよう！

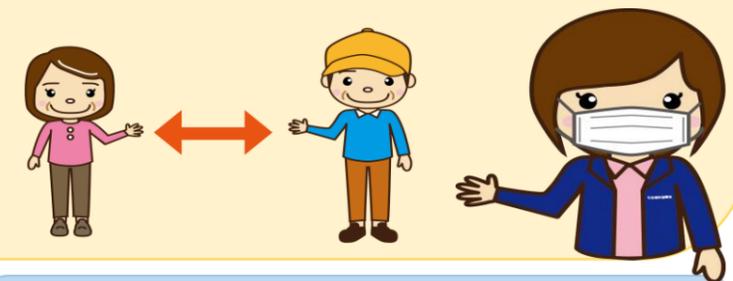


当日はお忘れなきよう、引き取りにいらして
くださいね。入れ物持って！
要領は次の通りです。
日時 5月28日(木曜日) 16時~17時
場所 三軒家公民館
持ち物 カレーを入れるタッパー、または小鍋

※対象者に配布された
案内のチラシ

熱中症にご注意ください

7月に入り、暑さが一層厳しくなりました。これからの季節は、マスクの着用により例年以上に熱中症に対する注意が必要です。皆様どうぞ、ご自愛ください



発行元 問合せ

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

長泉町下土狩967番地の2 福祉会館内

TEL 055-988-3920

bureau@nagaizumi-shakyo.jp